

# さいたま市美園地区のまちづくり ～スポーツ・健康～



さいたま市 浦和東部まちづくり事務所

# 1. さいたま市美園地区について

## 大規模な都市開発による新たな都市拠点づくり



東京都心20~40km圏に位置。美園地区はさいたま市の南東の端部に位置する郊外住宅地。

補注：都市構造可視化計画

さいたま市の東南部、東京都心25km圏の郊外に位置する「美園地区」は、2001年3月開業の埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に、大規模な都市開発が進むエリア。“市の副都心”の一つとして、同駅や2002FIFAワールドカップに向け2001年10月に開場した「埼玉スタジアム2002公園」を囲みながら、2000年度以降、総面積約320ha、計画人口約32,000人の土地区画整理事業（区域愛称：みそのウイングシティ）を核とした新たな都市拠点づくりが進行中。



# 1. さいたま市美園地区について

## 市上位計画での位置づけとまちのビジョン

### さいたま市総合振興計画における美園地区の位置づけ

#### さいたま市の目指す将来都市構造

都市機能の集積や豊かな自然環境との共生などにより、質の高い市民生活を支え、多彩な交流を生み出す、「水と緑に囲まれたコンパクト＋ネットワーク型の都市構造」

#### 副都心“美園地区”の目指す方向性

「埼玉スタジアム2002」などの地域資源を生かしながら、“スポーツ、健康、環境・エネルギーを軸に先進的なライフスタイルを創造する副都心地区”の形成を目指す。

### 「美園スタジアムタウンビジョン2050」における基本理念・将来像・方針



将来像 (2050)	まちづくりの方針 (2030)
① 埼玉スタジアムを核に、 過ごす人がおのずと 〈ウェルビーイングになるまち〉	(1) 「埼玉スタジアム」を核にしたスポーツ・健康文化を伝統・誇りに育てる (2) 「埼玉スタジアム」を核に、まち自体を健康を育む装置化する (3) 多彩なライフスタイルの土台となり、健康を支え合う基盤をつくる
② 伝承と先端技術が織り成す 〈美園版アーバンビレッジ〉	(4) 美園の個性を磨き・育て、都心居住者をおもてなす (5) 日々の暮らしに「農」を取り込む (6) 意欲的なチャレンジから「美園発」を創出し、育てる
③ 究極のグリーンインフラ 〈自然に溶け込むまち〉	(7) 「有事に心強く、平時にうれしい」自然・まちと人との信頼関係をつくる (8) まちのグリーン成長を促進し、ゼロカーボンへ貢献する

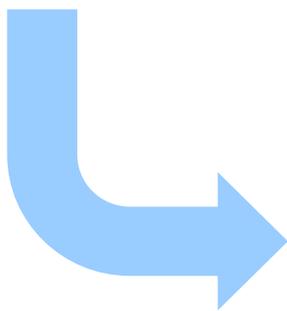
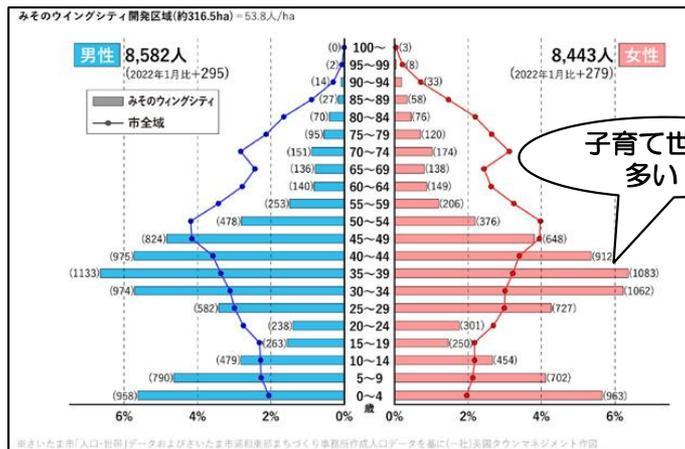
# 2.美園地区の現状・課題

## 都市開発の進展に伴い人口増加中（子育て世代が流入）

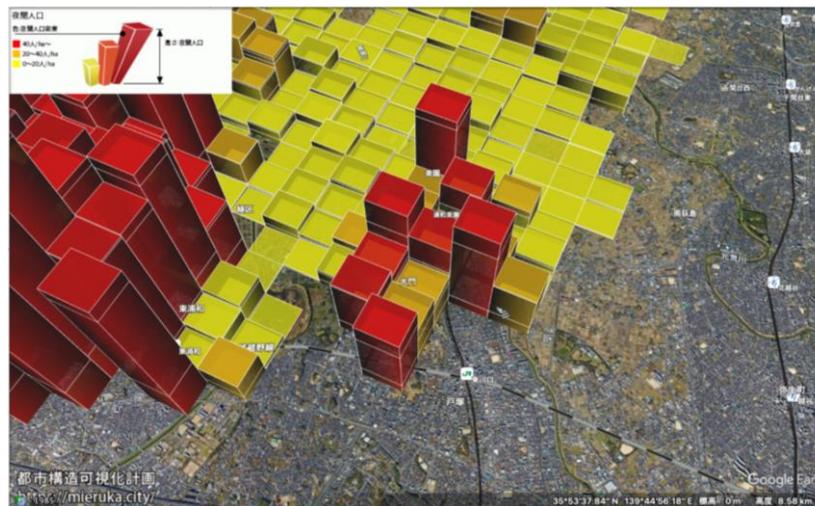
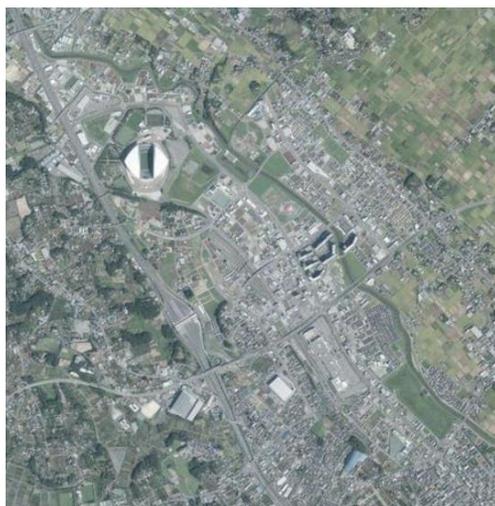


2010年

補注：都市構造可視化計画



区画整理の  
進捗と共に  
人口増加



2015年

補注：都市構造可視化計画

## 2.美園地区の現状・課題

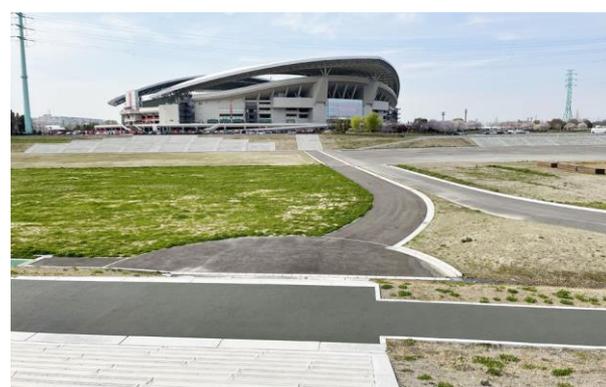
### 美園地区のスポーツ資源や健康まちづくりの取組



埼玉スタジアム2002  
浦和レッドダイヤモンズ



綾瀬川遊歩道整備



大門上池調節池広場



ウォーカビリティ向上のため  
ベンチ設置



【提供】埼玉高速鉄道  
T.T彩たまの活動  
(埼玉高速鉄道・T.T彩たまエリアポータル 調印式)

T.T彩たま

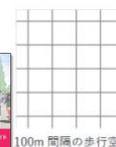
#### 2) 目標値の設定

指標	現況値 (2019年度)	目標値 (2030年度 <sup>19)</sup> )
①歩行空間のネットワーク密度 (参考: 歩行空間延長)	260m/ha (85.0km)	300m/ha (94.9km)
②緑豊かな歩道延長 (参考: 全歩道延長に対する割合)	5.1km (15%)	20.1km (58%)

#### 歩行空間のネットワーク密度のイメージ

美園地区の現況

【260m/ha】

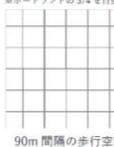


100m 間隔の歩行空間

美園地区の目標

【300m/ha】

※ポータルランドの3/4を目指す



90m 間隔の歩行空間

「歩行者に優しい都市構造」  
の事例として知られる  
米原駅周辺ポータルランド

【400m/ha】



60m 間隔の歩行空間

——: 歩行空間としての機能を有する道路

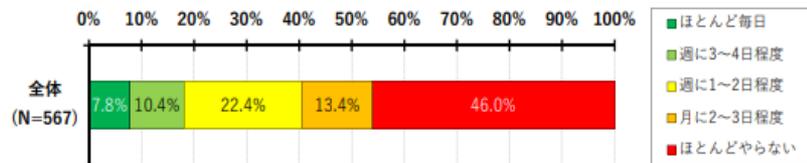
歩行空間の目標を設定  
(美園スタジアムタウン街並みデザインガイド)

## 2.美園地区の現状・課題

### 子育て世代が多いこともあり、運動習慣がない層が多い

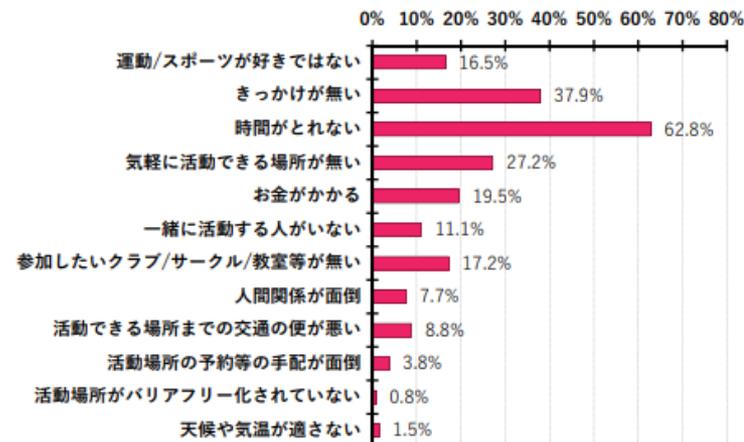
#### 3-1 ご自身の運動習慣(1回30分以上の運動/スポーツ)

	回答数	割合
ほとんど毎日	44	7.8%
週に3~4日程度	59	10.4%
週に1~2日程度	127	22.4%
月に2~3日程度	76	13.4%
ほとんどやらない	261	46.0%
有効回答計	567	100.0%



#### 運動/スポーツをする際の妨げ

	回答数	回答率
運動/スポーツが好きではない	43	16.5%
きっかけが無い	99	37.9%
時間がとれない	164	62.8%
気軽に活動できる場所が無い	71	27.2%
お金がかかる	51	19.5%
一緒に活動する人がいない	29	11.1%
参加したいクラブ/サークル/教室等が無い	45	17.2%
人間関係が面倒	20	7.7%
活動できる場所までの交通の便が悪い	23	8.8%
活動場所の予約等の手配が面倒	10	3.8%
活動場所がバリアフリー化されていない	2	0.8%
天候や気温が適さない	4	1.5%
(無回答)	8	3.1%
該当回答者数	261	—

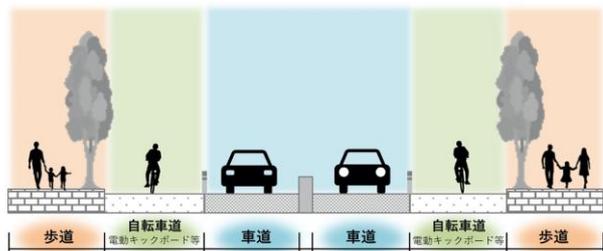


病気になってからではなく予防医療が必要！  
 そのために健康を維持しやすいまちづくりをしなければならない！  
 健康長寿が期待される人生100年時代の到来をチャンスと捉え、先端技術・知見を積極的に導入しながら、美園に現に存するハード・ソフトのインフラ資源を最大限有効活用し、スポーツ・健康づくりに関わる地域コミュニティの輪を育んでいく。

美園スタジアムタウン住民アンケート(調査期間2020年3月16日~4月30日)より抜粋

# 3. 施策展開

## スポーツ・健康まちづくりのより一層の推進が必要（以下、施策例）



多様な利用者が共存する道路空間再配分検討

### 「脱クルマ依存」型生活行動を支える域内モビリティ環境の構築

- 安心・安全な歩行ネットワークの形成
- 自転車利用環境の向上：通行帯の確保と広域ネットワークへの接続、駅周辺における駐輪台数確保 等
- 徒歩・自転車・公共交通を補完するモビリティサービスの充実：パーソナルモビリティのシェアリング、デマンド交通 等
- 駅周辺等のモビリティ・ハブ化による円滑な乗り継ぎ環境づくり

### 3km回廊のウォークアブル先導フィールド化

- 3km回廊における人中心の道路空間の先導的創出
- 3km回廊沿いオープンスペースの歩行回遊拠点化：公園機能再編 等
- 3km回廊沿いのウォークアブル装置充実：ベンチ・プランター・緑陰 等
- 3km回廊を核としたまちなかウォーキングプログラムの開発：ウォーキング支援情報のパーソナライズ発信 等



### 「スポーツのまち」としてのブランド力強化

- 浦和レッズ等スポーツチームのまちへのコミット強化
- スポーツイベントを軸としたスポーツツーリズム推進：スポーツコミッションとの連携 等
- AI・IoT等のICT利活用推進：埼スタの競技環境・観戦環境等向上、健康増進・選手育成プログラムの研究・開発 等
- スポーツ文化の薫る魅力ある都市空間の形成



さいたま市の地域資源：スポーツ・大宮盆栽・岩槻人形・見沼の自然 etc...